

# 日常生活圏域の 検討にあたって (資料編)

# 摂津市内の状況

前回資料



※出典:第8期せつつ高齢者かがやきプラン

# 北摂他市の状況

前回資料

	人口	高齢者人口	75歳以上人口	面積	中学校数	日常生活圏域数	1圏域あたり面積	1圏域あたり人口	1圏域あたり高齢者人口	1圏域あたり75歳以上人口
豊中市	409,193	105,053	56,107	36.39	17	7	5.20	58,456	15,008	8,015
池田市	103,730	27,930	14,940	22.14	5	2	11.07	51,865	13,965	7,470
吹田市	373,978	89,203	45,834	36.09	18	6	6.02	62,330	14,867	7,639
高槻市	351,341	102,417	54,832	105.29	18	4	26.32	87,835	25,604	13,708
茨木市	283,060	68,218	34,117	76.49	14	5	15.30	56,612	13,644	6,823
箕面市	138,373	34,850	18,068	47.9	8	14	3.42	9,884	2,489	1,291
摂津市	86,676	22,239	11,190	14.87	5	2	7.44	43,338	11,120	5,595

※出典:

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、日常生活圏域数=令和元年地域包括支援センター機能評価
- ・面積=令和元年大阪府統計要覧
- ・中学校数=令和3年6月25日に各市のホームページを参照
- ・「1圏域あたり」については、各種数値を日常生活圏域数で割り、機械的に計算。

# 摂津市内の状況

前回資料

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	介護保険事業者等					面積	
						居宅介護支援	特養	老健	住宅型有料	サ高住		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	4		1	2		2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	9	1			1	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	2	1		1	1	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		1	2	4	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	4	3		1	3	2.50	

※出典:

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、介護保険事業者等=第8期せつつ高齢者かがやきプラン(特養には小規模特養を含む)
- ・2027年高齢者人口(推計)=2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書
- ・面積=令和元年度版摂津市統計要覧

ただし、淀川河川敷、安威川河川敷については、面積に含まれないため、校区の合計は市域面積とは合致しない。  
また、統計要覧には町字別面積のみ掲載されている。

浜町については、1中校区と4中校区が混在しているが、校区毎の面積がないため、1中校区として集計した。

# 摂津市内の状況

前回資料

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	医療機関			面積	
						病院・ 診療所	歯科 診療所	薬局		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	10	10	7	2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	30	19	15	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	8	6	6	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2	4	2	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	2	3	2	2.50	

※出典:

- ・大阪府医療機関情報システム(令和3年8月10日確認)
- ・大阪府薬局情報検索(令和3年8月10日確認)

※病院・診療所、歯科診療所には、摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会に非加入の機関を含む。

# 摂津市内の状況（2042年推計）

前回資料

圏域	校区	人口	2020年からの増減数	高齢者人口	2020年からの増減数	75歳以上人口	2020年からの増減数
以北	1中	25,085	252増加	7,040	1,168増加	3,426	281増加
	3中	20,088	801減少	5,920	884増加	2,843	280増加
以南	2中	12,651	4,046減少	4,871	695増加	2,361	396増加
	4中	14,349	551減少	4,696	494増加	2,418	220増加
	5中	6,971	2,558減少	3,657	644増加	2,136	704増加

※出典：

2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

# 圏域数を増やすメリット・デメリット

前回資料

- 圏域数を増やす（1つの圏域がカバーする範囲を狭くする）ことによって、メリット・デメリットがある。

## 【主なメリット・デメリット】

### メリット

- 専門職が、より限られた範囲で担当地区を持つことになる。
- 圏域数に紐づく交付金の交付金基準額が増える。
- 地域密着型サービス事業者の公募にあたり、より限定した地域での募集を行える。

### デメリット

- 圏域によって事業者の多寡が生じる恐れがある。
- 圏域に付随して地域包括支援センター等を分割する場合、1センターあたりの専門職の数が減る。
- 交付金基準額が増えることにもなって事業規模を拡充する場合、介護保険料負担額が増える。

# 前回の審議会(書面開催)でのご意見(まとめ)

前回資料

■前回の審議会の意見として、大きく分けて下記の圏域案が挙げられている。

- 中学校区にあわせた圏域とする(=5圏域)。

- 安威川以南圏域を2圏域にわけ(=3圏域)。

- 現在の2圏域を維持する。

- その他、安威川以南を2圏域に分けた上で、更に安威川以北を2圏域にわけ、4圏域とする案が挙げられている。



# 前回の議論内容への補足説明

- 前回の議論の中で、「様々な取組・検討を各校区毎で行う必要がある」との議論がありました。
- 校区毎の取組・検討を行うにあたって、圏域をわける方法もありますが、圏域をわけずに、個別の取組・検討を細かな単位で行う方法もあります。
- 前回の審議会の中で、上記の内容についての説明が出来ていなかったため、補足で説明を行います。

# 圏域について

前々回（書面開催）資料

■今後の審議によりますが、大きくは下記のような形が考えられます。

- 現在の安威川以北・安威川以南の2圏域を維持するが、取組内容によっては、より地域をわけた取組とする。
- 圏域数は2圏域を維持するが、圏域の分け方を変える。
- 圏域数を増やす。

# 個別の取組を圏域毎以外で実施している例

## ■地域ケア会議中学校区全体会議

地域の医療関係者・介護関係者・地域住民が集まり、地域課題などについて話し合う会議

- 中学校区単位で実施

## ■高齢者のための地域活動マップ【中学校区編】

高齢者が参加できる趣味の会や体操のグループ等を取りまとめた冊子

- 中学校区単位で作成

## ■委託型つどい場

高齢者が気軽に参加することのできる通いの場

- 既存のサロン・リハサロンの開催場所から遠い地域に重点的に配置  
(以北4か所(街かどデイハウス含む)、以南6か所)



# 圏域案の検討にあたって（介護資源の状況）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	介護保険事業者等					面積	
						居宅介護支援	特養	老健	住宅型有料	サ高住		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	4		1	2		2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	9	1			1	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	2	1		1	1	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		1	2	4	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	4	3		1	3	2.50	

※出典：

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、介護保険事業者等＝第8期せつつ高齢者かがやきプラン（特養には小規模特養を含む）
- ・2027年高齢者人口（推計）＝2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書
- ・面積＝令和元年度版摂津市統計要覧

ただし、淀川河川敷、安威川河川敷については、面積に含まれないため、校区の合計は市域面積とは合致しない。  
また、統計要覧には町字別面積のみ掲載されている。

浜町については、1中校区と4中校区が混在しているが、校区毎の面積がないため、1中校区として集計した。

# 圏域案の検討にあたって（医療資源の状況）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	医療機関				面積	
						病院・ 診療所	うち入院	歯科 診療所	薬局		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	10	1	10	7	2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	30	2	19	15	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	8	1	6	6	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		4	2	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	2		3	2	2.50	

※出典:

- ・大阪府医療機関情報システム(令和3年8月10日確認)
- ・大阪府薬局情報検索(令和3年8月10日確認)

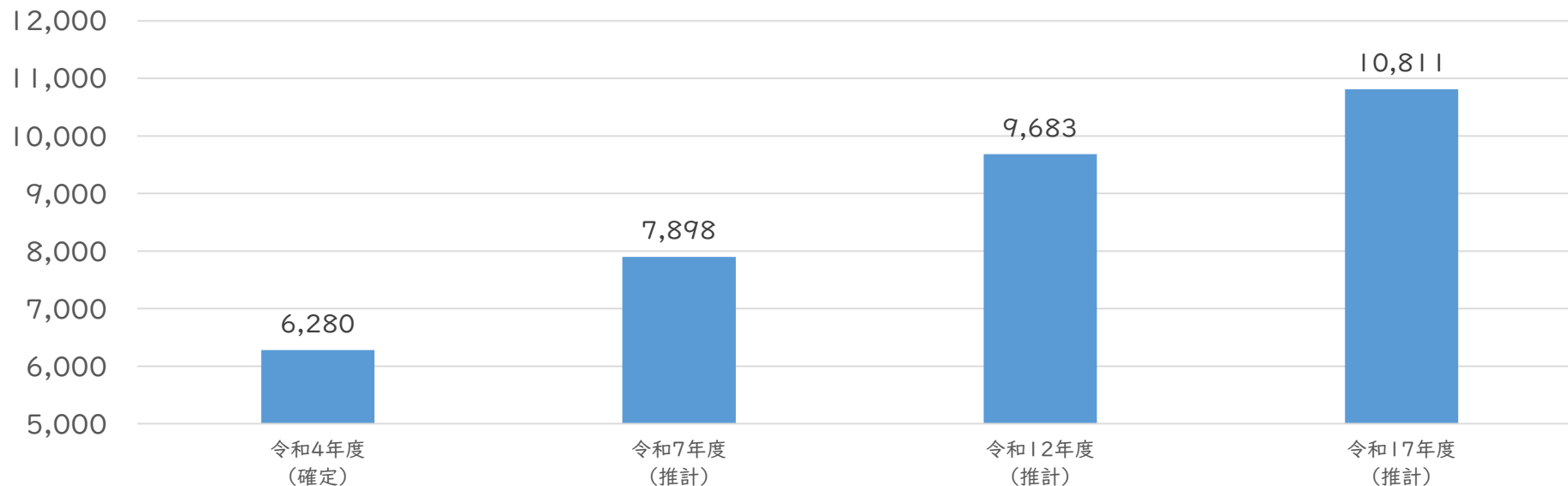
※病院・診療所、歯科診療所には、摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会に非加入の機関を含む。

# 介護保険料について

## ■介護保険料基準月額額の推計

※今後の高齢者数の増加などを見込んだ推計値のため、必ず下記の保険料となるものではありません。  
(単位：円/月)

令和4年度 (確定)	令和7年度 (推計)	令和12年度 (推計)	令和17年度 (推計)
6,280	7,898	9,683	10,811



※出典：厚生労働省 地域包括ケア「見える化」システム

# 圏域数の増減の影響を受けないこと

■圏域数の増減に影響を受けないことは下記の通り。

- 利用できる介護サービス事業者

※制度としては、圏域に関わらず介護サービスの利用は可能である。  
ただし、事業者側でサービス提供圏域を設定する可能性はある。

- 地域包括支援センターの運営に関わる交付金基準額

※地域包括支援センターの人員を増員する場合は、総額を維持した上で、人員を増員する必要がある。

- 公共施設の整備

※ただし、必要に応じて参考とする可能性はある。

# 圏域数の検討（5 圏域の場合）



# 摂津市内の状況（5圏域の場合）

圏域	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	介護保険事業者等					面積
					居宅介護支援	特養	老健	住宅型有料	サ高住	
1中	24,833	5,872	3,145	5,799	4		1	2		2.17
2中	16,697	4,176	1,965	4,121	2	1		1	1	3.32
3中	20,889	5,036	2,563	4,982	9	1			1	2.56
4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		1	2	4	2.64
5中	9,529	3,013	1,432	3,279	4	3		1	3	2.50

※出典:

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、介護保険事業者等=第8期せつつ高齢者かがやきプラン(特養には小規模特養を含む)
- ・2027年高齢者人口(推計)=2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書
- ・面積=令和元年度版摂津市統計要覧

ただし、淀川河川敷、安威川河川敷については、面積に含まれないため、校区の合計は市域面積とは合致しない。  
また、統計要覧には町字別面積のみ掲載されている。

浜町については、1中校区と4中校区が混在しているが、校区毎の面積がないため、1中校区として集計した。

# 摂津市内の状況（5圏域の場合）

圏域	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	医療機関				面積
					病院・ 診療所	うち入院	歯科 診療所	薬局	
2中	16,697	4,176	1,965	4,121	8	1	6	6	3.32
3中	20,889	5,036	2,563	4,982	30	2	19	15	2.56
4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		4	2	2.64
5中	9,529	3,013	1,432	3,279	2		3	2	2.50

※出典:

- ・大阪府医療機関情報システム(令和3年8月10日確認)
- ・大阪府薬局情報検索(令和3年8月10日確認)

※病院・診療所、歯科診療所には、摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会に非加入の機関を含む。

# 摂津市内の状況（2042年推計）（5圏域の場合）

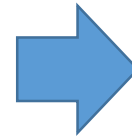
圏域	人口	2020年からの増減数	高齢者人口	2020年からの増減数	75歳以上人口	2020年からの増減数
1中	25,085	252増加	7,040	1,168増加	3,426	281増加
2中	12,651	4,046減少	4,871	695増加	2,361	396増加
3中	20,088	801減少	5,920	884増加	2,843	280増加
4中	14,349	551減少	4,696	494増加	2,418	220増加
5中	6,971	2,558減少	3,657	644増加	2,136	704増加

※出典：

2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

# 地域包括支援センターの人員（5圏域の場合）

圏域	高齢者人口	2027年 高齢者人口 (推計)	2042年 高齢者人口 (推計)
1中	5,872	5,799	7,040
2中	4,176	4,121	4,871
3中	5,036	4,982	5,920
4中	4,202	4,227	4,696
5中	3,013	3,279	3,657



圏域	人員	2027年 人員	2042年 人員
1中	3名	3名	4名
2中	3名	3名	3名
3中	3名	3名	3名
4中	3名	3名	3名
5中	3名	3名	3名
計	15名	15名	16名

※地域包括支援センターの人員は、高齢者人口3,000人～6,000人に対して3職種1名ずつ（1,000人～2,000人に対して1名）のため、推計人口からの計算で算出。

# 介護保険料への影響（5圏域の場合）

- 現在とくらべて、圏域数は3圏域の増加となる。
- 圏域数に影響する事業である「生活支援体制整備事業」について、圏域数の増加に応じて予算規模を拡充する場合、右下の通り負担が増える。

- 今後の人口の動向にもよるが、介護保険料について、  
約123.6円/人・年  
の増額が必要になる。

国の交付金	4,620,000円増額
府の交付金	2,310,000円増額
市の負担金	2,310,000円増額
保険料負担金	2,760,000円増額

(約123.6円/人・年 増額)

# まとめ（5圏域の場合）

- 圏域数が最も多くなり、面積上は、北摂全体と比較して、箕面市以上に小さくなる。
- 1圏域あたりの高齢者人口は箕面市と同程度に少なくなる。
- どの圏域もおおむね3,000人～6,000人の人口で推移する見込みであるが、その人数は圏域毎に異なる。
- 医療資源として、入院設備のない圏域が出てくる。
- 保険料の負担への影響は最も大きくなる。

# 圏域数の検討（3 圏域の場合）

# 摂津市内の状況（3圏域の場合）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	介護保険事業者等					面積	
						居宅介護支援	特養	老健	住宅型有料	サ高住		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	4		1	2		2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	9	1			1	2.56	
鳥飼	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	2	1		1	1	3.32	5.82
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	4	3		1	3	2.50	
別府・ 一津屋	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		1	2	4	2.64	2.64

※出典:

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、介護保険事業者等=第8期せつつ高齢者かがやきプラン(特養には小規模特養を含む)
- ・2027年高齢者人口(推計)=2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書
- ・面積=令和元年度版摂津市統計要覧

ただし、淀川河川敷、安威川河川敷については、面積に含まれないため、校区の合計は市域面積とは合致しない。  
また、統計要覧には町字別面積のみ掲載されている。

浜町については、1中校区と4中校区が混在しているが、校区毎の面積がないため、1中校区として集計した。



# 摂津市内の状況（3圏域の場合）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	医療機関				面積	
						病院・ 診療所	うち入院	歯科 診療所	薬局		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	10	1	10	7	2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	30	2	19	15	2.56	
鳥飼	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	8	1	6	6	3.32	5.82
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	2		3	2	2.50	
別府・ 一津屋	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		4	2	2.64	2.64

※出典:

- ・大阪府医療機関情報システム(令和3年8月10日確認)
- ・大阪府薬局情報検索(令和3年8月10日確認)

※病院・診療所、歯科診療所には、摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会に非加入の機関を含む。

# 摂津市内の状況（2042年推計）（3圏域の場合）

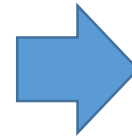
圏域	校区	人口	2020年からの増減数	高齢者人口	2020年からの増減数	75歳以上人口	2020年からの増減数
以北	1中	25,085	252増加	7,040	1,168増加	3,426	281増加
	3中	20,088	801減少	5,920	884増加	2,843	280増加
鳥飼	2中	12,651	4,046減少	4,871	695増加	2,361	396増加
	5中	6,971	2,558減少	3,657	644増加	2,136	704増加
別府・ 一津屋	4中	14,349	551減少	4,696	494増加	2,418	220増加

※出典：

2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

# 地域包括支援センターの人員（3圏域の場合）

圏域	高齢者人口	2027年 高齢者人口 (推計)	2042年 高齢者人口 (推計)
以北	10,908	10,781	12,960
鳥飼	7,189	7,400	8,528
別府・ 一津屋	4,202	4,227	4,696



圏域	人員	2027年 人員	2042年 人員
以北	6名	6名	7名
鳥飼	4名	4名	5名
別府・ 一津屋	3名	3名	3名
計	13名	13名	15名

※地域包括支援センターの人員は、高齢者人口3,000人～6,000人に対して3職種1名ずつ（1,000人～2,000人に対して1名）のため、推計人口からの計算で算出。

# 介護保険料への影響（3圏域の場合）

- 現在とくらべて、1圏域の増加となる。
- 圏域数に影響する事業である「生活支援体制整備事業」について、圏域数の増加に応じて予算規模を拡充する場合、右下の通り負担が増える。

- 今後の人口の動向にもよるが、介護保険料について、  
約41.2円/人・年  
の増額が必要になる。

国の交付金	1,540,000円増額
府の交付金	770,000円増額
市の負担金	770,000円増額
保険料負担金	920,000円増額

(約41.2円/人・年 増額)

# まとめ（3圏域の場合）

- 圏域をわけることにより面積の大きい圏域はなくなる。
- 面積が最少の圏域では箕面市の平均より小さくなるが、一方で、圏域毎の面積の差が最も大きくなる。
- 高齢者数については、圏域により異なる。
- 医療資源として、入院設備のない圏域が出てくる。
- 保険料に若干の影響がある。

# 圏域数の検討（2 圏域の場合）

# 摂津市内の状況（2圏域の場合）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	介護保険事業者等					面積	
						居宅介護支援	特養	老健	住宅型有料	サ高住		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	4		1	2		2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	9	1			1	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	2	1		1	1	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		1	2	4	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	4	3		1	3	2.50	

※出典:

- ・人口、高齢者人口、75歳以上人口、介護保険事業者等=第8期せつつ高齢者かがやきプラン(特養には小規模特養を含む)
- ・2027年高齢者人口(推計)=2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書
- ・面積=令和元年度版摂津市統計要覧

ただし、淀川河川敷、安威川河川敷については、面積に含まれないため、校区の合計は市域面積とは合致しない。  
また、統計要覧には町字別面積のみ掲載されている。

浜町については、1中校区と4中校区が混在しているが、校区毎の面積がないため、1中校区として集計した。

# 摂津市内の状況（2圏域の場合）

圏域	校区	人口	高齢者人口	75歳以上人口	2027年 高齢者人口 (推計)	医療機関				面積	
						病院・ 診療所	うち入院	歯科 診療所	薬局		
以北	1中	24,833	5,872	3,145	5,799	10	1	10	7	2.17	4.73
	3中	20,889	5,036	2,563	4,982	30	2	19	15	2.56	
以南	2中	16,697	4,176	1,965	4,121	8	1	6	6	3.32	8.46
	4中	14,900	4,202	2,198	4,227	2		4	2	2.64	
	5中	9,529	3,013	1,432	3,279	2		3	2	2.50	

※出典:

- ・大阪府医療機関情報システム(令和3年8月10日確認)
- ・大阪府薬局情報検索(令和3年8月10日確認)

※病院・診療所、歯科診療所には、摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会に非加入の機関を含む。



# 摂津市内の状況（2042年推計）（2圏域の場合）

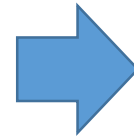
圏域	校区	人口	2020年からの増減数	高齢者人口	2020年からの増減数	75歳以上人口	2020年からの増減数
以北	1中	25,085	252増加	7,040	1,168増加	3,426	281増加
	3中	20,088	801減少	5,920	884増加	2,843	280増加
以南	2中	12,651	4,046減少	4,871	695増加	2,361	396増加
	4中	14,349	551減少	4,696	494増加	2,418	220増加
	5中	6,971	2,558減少	3,657	644増加	2,136	704増加

※出典：

2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

# 地域包括支援センターの人員（2圏域の場合）

圏域	高齢者人口	2027年 高齢者人口 (推計)	2042年 高齢者人口 (推計)
以北	10,908	10,781	12,960
以南	11,391	11,627	13,224



圏域	人員	2027年 人員	2042年 人員
以北	6名	6名	7名
以南	6名	6名	7名
計	12名	12名	14名

※地域包括支援センターの人員は、高齢者人口3,000人～6,000人に対して3職種1名ずつ（1,000人～2,000人に対して1名）のため、推計人口からの計算で算出。

# 介護保険料への影響（2圏域の場合）

- 現在の圏域と同じであるため、介護保険料への影響はない。

# まとめ（2圏域の場合）

- 3圏域とくらべて面積の大きい圏域が残ることになるが、圏域毎の面積の差は少ない。
- 高齢者数については、今後の高齢者の増加により増えるものの、どちらの圏域も10,000人～13,000人程度で推移する見込み。
- すべての圏域に入院設備のある病院が存在する。
- 保険料への影響はない。

# 全体のまとめ

	5圏域	3圏域	2圏域
1圏域あたりの面積	小さい	中程度	大きい
圏域毎の面積差	小さい	大きい	中程度
1圏域あたりの高齢者数	少ない	圏域により異なる	多い
圏域毎の高齢者数の差	大きい	圏域により異なる	小さい
入院病床	存在しない圏域有	存在しない圏域有	すべての圏域に存在
保険料負担への影響	大きい	若干有	無

※上記の記載については、他の圏域案と比較した内容を記載しています。